

2 休山新道4車線化の整備促進及び一般国道185号(広～安浦間)の早期事業化

土木建築局道路企画課・土木建築局都市計画課

提案の要旨

休山新道4車線化の整備促進及び一般国道185号(広～安浦間)の早期事業化

現状及び課題

一般国道185号は、本市から瀬戸内海沿いに三原市に至る幹線道路であり、沿線地域住民の生活向上や地域産業の発展に大きく貢献しています。

本路線のうち、呉市内の中央地区と阿賀・広地区とを結ぶ「休山新道」は、平成14年3月に暫定2車線での供用を開始しましたが、予想を上回る交通量が「休山新道」へ流れており、更なる渋滞やそれに伴う交通事故など、新たな交通課題が発生しております。

また、広島都市圏の経済・産業・文化の発展を支えるため、広島市・東広島市・呉市の核都市を連絡するトライアングルネットワークの形成が必要とされており、「東広島・呉自動車道」が平成27年3月に全線供用され、今後、更に「休山新道」への交通が増大すると考えられ、「休山新道の4車線化」が不可欠となっています。

一方、一般国道185号(広～安浦間)は、朝夕を中心に深刻な交通渋滞が発生しており、合併後のまちづくりにおいて、通勤・通学や救急救命活動など、安浦地区及び安芸灘諸島地域との交流・連携を一層推進するためにも、当該区間の機能強化が必要となっています。

取組状況等

(1) 休山新道4車線化

S60.9.6 休山新道建設促進期成同盟会設立

※平成27年度取組状況

H27.7.31 国土交通省中国地方整備局及び広島県へ建設促進を要望

H27.10.19 同上

H27.11.10 国土交通省及び財務省並びに広島県選出国會議員へ建設促進を要望

S17 特24号国道として計画、工事着手

S21.10 2車線道路として都市計画決定

S62.3 4車線道路として都市計画を変更

H12.9 休山トンネル概成(1.7km)

H14.3 暫定2車線供用開始

H16.8 休山トンネル歩車道分離壁完成。同トンネル歩道部を「休山悠路」として供用開始

H16年度～ 休山トンネル4車線化のための工法検討など測量調査業務に着手

H21.11, H24.12 中国地方整備局事業評価監視委員会で再評価され、事業継続が妥当と公表された。

H25.9～ II期線トンネルの家屋等事前調査に関する説明会を開催、家屋等事前調査の実施

H27.3～ II期線トンネル掘削工事着手(阿賀側)

(2) 一般国道185号(広～安浦間)

H15.3.4 国道185号(呉～安浦間)整備促進期成同盟会設立

※平成27年度取組状況

H27.7.31 国土交通省中国地方整備局及び広島県へ建設促進を要望

H27.10.19 同上

H27.11.10 国土交通省及び財務省並びに広島県選出国會議員へ建設促進を要望

H14.7 みちづくり研究会

H15年度 予備設計実施(広島県)

H16.1 環境調査着手(国)

H16.6 道路設計検討業務着手(国)

H17.3月・7月 呉周辺幹線道路網整備連絡協議会幹事会

H17.8～ 一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会開催

H18.1～ 「国道185号仁方のみちづくり」を考えるワークショップ開催

H18.3 呉周辺幹線道路網整備連絡協議会幹事会

(「一般国道185号呉市仁方地区の道路整備の方針に関する提言書」提出)

提案の内容

○ 休山新道4車線化の整備促進

東広島・呉自動車道整備後の地域間相互の交流・連携や地域の経済・産業・文化の発展を進め、新たな交通課題に対応するため、休山新道4車線化の早期完成に向けて、整備を促進すること。

○ 一般国道185号（広～安浦間）の早期事業化

合併後のまちづくりにおいて、通勤・通学や救急救命活動など、安浦地区及び安芸灘諸島地域との交流・連携を一層推進するため、一般国道185号（広～安浦間）の整備を早期事業化すること。

【事業概要】

事業	区間	総延長	車線数
休山新道4車線化	本通6丁目～阿賀中央6丁目	2.6km (トンネル1.7km)	2車線
一般国道185号	広地区～安浦地区	約10.0km	—

休山新道4車線化・一般国道185号（広～安浦間）

